

行政視察 飯田昌弘 議員

日時：令和元年2月5日(水)～2月7日(金)

場所：愛媛県西条市、徳島県三好市

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～羽田空港国内線ターミナル駅	鉄道	往	111.7	1,550	1,050			2,600
羽田空港～松山空港	飛行機	往	859.0			28,790		28,790
松山空港～松山駅前	バス	往	6.0				470	470
松山駅～伊予西条駅	鉄道	往	80.1	1,660				1,660
西条駅前～市役所前	バス	往復	2.4				280	280
伊予西条駅～阿波池田駅	鉄道	往	125.5	2,460	2,620			5,080
阿波池田駅～徳島駅	鉄道	復	74.0	1,660				1,660
徳島駅前～徳島空港	バス	復	13.1				450	450
徳島空港～羽田空港	飛行機	復	703.0			26,090		26,090
羽田空港国内線ターミナル駅～佐野駅	鉄道	復	111.7	1,550	1,050			2,600
								0
計				8,880	4,720	54,880	1,200	69,680

宿泊料@16,500×2泊	33,000 円
---------------	----------

交通費	69,680 円
-----	----------

(うち航空運賃)	54,880 円)
----------	-----------

計	102,680 円
---	-----------

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 恩田 俊彦



蒼生会行政視察報告書

日時：令和元年7月18日（木）～20日（土）

参加者：飯田昌弘、鈴木靖宏、久保貴洋、高橋功

場所：18日 中城村護佐丸歴史資料図書館・世界遺産中城城跡

対応者：新垣議会事務局長、村吉護佐丸歴史資料図書館長、新垣博正議長

大城議員（委員長）、比嘉議員（副委員長）、石原議員（ガイド代表）

この図書館は、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺跡群」の一つとして、世界に誇れる貴重な文化遺産「中城城跡」と、その按司として琉球史上最も名高い武将である「護佐丸」を擁している中城村において、先人の築き上げた琉球の歴史文化を広く知らしめていくための情報発信拠点となる施設です。

沖縄振興推進特別市町村交付金（一括交付金）事業とした内閣府の承認で平成24年度より護佐丸歴史資料図書館整備事業として開始、平成28年5月30日開館しました。

琉球における築城技術を今に伝える中城城跡の美しい城壁をモチーフとした石積の正面玄関で出迎え、中城城跡や護佐丸を中心とした琉球歴史を子ども達にも分かり易く学べる中城歴史資料室と、護佐丸展など様々な企画展を開催する企画展示室、郷土資料を中心に揃えた資料図書館、災害発生時の防災避難施設の3つの機能を備えた複合施設として建設されています。

また、隣接する吉の浦会館や、吉の浦の総合スポーツ施設と連携した、タウンセンターの重要施設の一つとなっています。

質問事項

1. 建設事業費（概算）、導入した国庫補助金等の種類、歳入額をお伺いいたします。A:1,501,465,000円。沖縄振興特別交付金（一括交付金）

2. 総合施設として建設した理由。運用中効果的に機能している点、当初の想定と異なり苦労している点はありますか。

A:図書館の要望が地元より強くあり、防災施設として建設し、平時でも広く活用してもらえる施設となるよう、村のシンボル中城城跡や護佐丸を含めた歴史教育への活用と、図書館を併設することで、学びの広がりを期待した。

3. 歴史資料図書館1Fの中城歴史展示室は、中城城跡のガイドダンス施設として位置づけられていますか。

A:中城村や琉球の歴史、中城城跡について知ってもらうため、村内小中学校における「ごさまる科」をはじめとした、地域史の学びを支援する施設

4. 中城歴史展示室の概要、工事費、展示品の目玉や新たな試み等、施設のセールスポイントについてお伺いいたします。

A:展示工事費：63,979,000円。目玉は歴史年表、中城城跡1/100の精巧な城郭のジオラマ、石積構造を学ぶパズル、火器の複製、城壁からの出土品等

- 新たな試み：村の祭り、イベントへの出店、小学校出張展示、出張講座
5. 常設展、企画展で入館料を徴収していますか。A:徴収なし。
 6. 3Fの企画展示室の概要。目的と内容についてお伺いいたします。
A:非常時における一時避難所（収蔵庫、備蓄）。企画展、講演会、講座文化祭り、歴史文化、教育に関する催しを行う。
 7. 施設運営の方法を教えてください。指定管理者の場合は委託料はおいくらですか。A:直営教育委員会
 8. 平成29年度、30年度の図書館及び歴史資料館の利用者数をお伺いします。予測数との対比はいかがですか。その要因をどのように分析されていますか。
A:18年度、55,652人。19年度、55,624人。更なる利用増を目指して「企画展」に力を注ぐ。
 9. 現在の施設全体の職員数と配置についてお伺いいたします。
A:図書館、係長、主事（司書）。非常勤、館長、司書7人、補助1人、学芸員、補助各1人、清掃員2人
 10. 基本計画報告書で資料館には、学芸員1人・嘱託員2人・臨時職員1人の案が提示されていました。現在の配置状況と歴史分野の専門職なのかお伺いいたします。A:民族1人、考古学1人計2名
 11. 中城城跡見学の人のガイドツアーなどは実施していますか。実施している場合、申込み方法や実施方法は。友の会等のボランティア団体はありますか。ある場合は人数と活動内容をお伺いいたします。
A:中城城跡管理協議会が実施している。無料でガイドをしている。
 12. 収益を上げる目的で行っている事業はありますか。館内で図録や記念品等の販売を行っていますか。
A:収益を上げるための想定はしていない。物品の販売をしていない。

考察

中城村は人口が平成2年12,060人が平成31年21,307人と9,247人も増加しています。要因は琉球大学の立地だけでなく、子どもたちへの琉球文化の教育を始め教育特区として小中学校にごさまる科を設け教育しています。地元を愛する教育として素晴らしいと感じました。中城護佐丸図書館はその拠点施設とした単なるガイド施設ではなく防災機能も併せ持った、歴史文化の発信基地として、素晴らしい施設でした。佐野市でも唐沢城跡のビジターセンターの設置に向けて検討してみる価値は十分あると思いました。

日時：令和元年7月19日（木）～20日（土）

19日（金）場所：沖縄県宮古島市 エコアイランドについて

対応者：宮古島市企画制作部次長善平 勝様、エコアイランド推進課資源活用推進係新城琢矢主任主事、議会事務局久志龍太主事

宮古島の概況

四方を海に囲まれ隆起珊瑚礁からなる平坦な島で、大きな河川等も無く、台風や干ばつを受けやすい厳しい自然環境にあります。

人口は約 55,000 人、面積約 205 k m²、気候は亜熱帯性気候で年平均気温 23.3°

c

産業は農水産業と観光業で、農業は基幹作物のサトウキビの他、葉タバコ、マンゴーなどの果樹栽培、野菜ではゴーヤー、かぼちゃ、とうがんなどで、サトウキビと葉タバコは国内屈指の生産高を誇ります。

水産業は、カツオ、マグロ、タカサゴなどの魚類、車えびやモズク、海ブドウの養殖。その他産業では、泡盛製造、塩業、伝統工芸品の「宮古上布」があります。

宮古島は、サンゴの美しい海や東平安名崎に代表される自然・景観資源を豊富に有し、また、「スポーツアイランド宮古島」構想に係る各種スポーツイベントや音楽イベント等の開催によって、観光客数は増加してきました。伊良部大橋の開通等で年間 114 万人の観光客が訪れており、さらなる観光客の増加が見込まれています。

宮古島市では持続可能性と地域エネルギー政策について「住み続けられる島」を実現するため、エコアイランド宮古島宣言 2.0 を発表。

■ 標語「千年先の、未来へ。」を策定

■ 2030 年、2050 年に目指すべき 5 つのゴール設定 (H31.3)

ビジョン 指標①地下水質・窒素濃度 指標②ごみ排出量 指標③エネルギー自給率 指標④サンゴ被度 指標⑤固有種保全 を設定し
エコアイランド宮古島推進計画として

【環境保全】 ●地下水の保全 ●サンゴの海の保全 ●ごみ対策 ●生物多様性

【資源循環】 ●エネルギー自給率/CO₂/エネルギーコスト対策

【産業振興】持続可能な観光

を掲げ CO₂ 排出削減「環境モデル都市行動計画」を策定し、様々な取組を実施しています。

佐野市は面積 356.04 k m²の内 80.1 k m²の山林を有しており、バイオマス発電の取り組みを調査研究中です。参考にさせていただきたく、宮古島のバイオマスタウン構想における、バガス発電についての詳細をお聞かせください。

・沖縄精糖株式会社宮古工場、宮古精糖株式会社城辺工場、宮古精糖株式会社伊良部工場では、バガス発電を実施していますか。

・発電量はいかほどですか？A:製糖工場に確認願います。

・電力の供給先、利用方法をご教授ください。A:精糖操業中は自家発電でまか
なっています。

・精糖、発電に使用するサトウキビは、すべて宮古島市内で生産されたもので
すか?A:その通りです。

・サトウキビを搾汁したものをそのまま発電の燃料にできますか?A:そのまま
燃料となります。乾燥や加工は必要ですか?A 必要ありません。

・燃料にバガス以外のものを混合していますか?ボイラーを立ち上げる時は重
油が必要です。

・バガスのすべてを燃料に利用するのでしょうか?燃料以外にも利用していま
すか?A:余剰分は肥料や牛の飼料として提供しています。

・発電に必要なバガスの量(1日分、1年分)はいかほどですか?A:工場に確認
願います。

・バガスを燃焼した際の熱は、どのように利用していますか?

・熱の利用方法、供給先をご教授ください。A:蒸気として利用しています。

・熱エネルギーの量はいか程でしょうか?A:工場に確認願います。

・燃焼した後の灰は、農業などに利用していますか?産業廃棄物として処分し
ていますか?A:燃焼後の灰、余剰バガス、ケーキはすべて有機肥料として畑に
還元されます。これらを家畜糞等と適切に処理することで、付加価値の高い有
機肥料になっています。

・導入しているボイラー、発電・熱供給などの設備についてご教授ください。

A:工場に確認願います。

持続可能性と地域エネルギー政策、取り組み事例

・電気自動車普及促進事業 EVに対する理解促進 導入補助

・エコハウス普及啓発事業 「蒸暑地域型エコハウス」の見学・体験宿泊

・天然ガス利用推進事業 地下資源の天然ガスと温泉水の活用実験

・離島マイクログリッド実証事業 沖縄電力による太陽光発電 4MW、蓄電池
4MWを設置し、再生可能エネルギーによる変動に対する安定化対策の実証

・宮古島市全島 EMS 実証事業 島全体における需要制御の効果を検証するため、
地下ダムのポンプや島内に普及した電気式給湯器、蓄電池等の需要設備の遠隔
制御を実証する

今後の取り組み

・観光を軸に、地域経済は極めて活況。・家賃高騰や店舗の混雑等、市民生活に
悪影響も顕在化。・地域経済の流れを分析・把握し、市民に恩恵が波及し、市民

生活の具体的な改善等に繋げていく必要がある。

・「市民の暮らし」に視点を置き、必要な施策を洗い出しながら、エコアイランド宮古島推進計画に具体的に位置付けていく。

考察

エコパークは指定管理者に運営が任され、コスト面で不採算となることから譲渡される予定です。安定した材料の供給とコストに見合った需要が必要となります。宮古島市では持続可能なエネルギー利用の仕組みづくりを進めています。離島ならではの課題に挑戦し、多くの市民が観光を軸とした極めて活況状態にある地域経済を通じて「暮らし」の豊かさを指標としたエコアイランド宮古島推進計画に施策を位置づけ具現化していくとしています。当市とは視点が全く違いますが暮らしの豊かさを指標とすることも大切な要素であると感じました。今後の参考にしたいと思います。

令和2年蒼生会行政視察

期日：令和2年2月5日（水）～2月7日（金）

5日（水）愛媛県西条市 防災への取り組みについて

6日（木）徳島県三好市 休廃校利活用について

参加者：久保貴洋。鈴木靖宏。高橋功。飯田昌弘。以上4名

なお、西条市には台風第19号に対する対応について不十分と思われた点や、より迅速な対応をするための取り組みの構築に向けて事前に質問事項を下記のように提出しました。

西条市「防災への取り組みについて」

佐野市は令和元年10月12日台風第19号の直撃により甚大な被害が発生しました。これを教訓に西条市の対応を参考にできたらと思い視察研修にお邪魔しました。ご指導宜しくお願い致します。 蒼生会 会長 飯田昌弘

質問事項

- 1.河川の堤防決壊が夜間に発生したため、現場確認が難しく被災状況の把握に困難を極めました。西条市の現場確認システムの状況をお伺いいたします。
- 2.住民からの問い合わせが殺到し、十分な対応ができなかったと考えます。西条市ではどのように対応されるかお伺いいたします。
- 3.市庁内の情報の共有が十分行えなかったと考えています。情報把握に必要な情報を集約し、速やかに庁内において共有するシステムについてご教授ください。
また、災害対策本部で、把握した情報を、避難所（指定避難所55箇所）へ提供することが不十分でした。貴市におかれましては、どのような手段により避難所への情報伝達をされていますか。
- 4.アプリ「防災情報さいじょう」の現状とスペック、初期費用、ランニングコスト、登録状況、運用状況についてご教授願います。
- 5.旧市内で決壊した河川は一級河川で県管理河川です。市としては要望しかできない現状ですがよい知恵がありましたらご教授ください。
- 6.中山間地域でも甚大な被害が発生しました。消防団や町会長からの連絡で被害の発生が知らされます。中山間地での被害状況の把握はどのようにされていますか。お伺いいたします。
- 7.防災・減災のためには、自助・共助が大変重要であります。地域防災力向上のための対応や対策はどのようにされていますか。
- 8.情報伝達手段として、「防災行政無線」を活用していると思いますが、本市でも主たる情報伝達手段として活用しています。しかし、大雨時等聞こえないと

のご意見を多々受けており、補完するものとして、フリーダイヤルや防災メール、ホームページやケーブルテレビ等で放送した内容を伝達しています。貴市では「防災行政無線」の効果を上げる取り組みや、補完するためのツールはどのように利用されていますか。

報告書

西条市議会事務局 局長北須賀仁志様、議事課副主査高木様

経営戦略部 危機管理課 課長 森本素史様

西条市概要。西条市は愛媛県東部に位置し、東は西日本最高峰の「石鎚山」北は瀬戸内海に囲まれ、人口 109,659 人、50,441 世帯。面積 510.04 k m²、県内 3 位の面積を有しています。

気候は温暖で良質な自噴水「うちぬき」に代表される豊かな自然環境と、由緒ある寺や名湯といった観光資源に恵まれています。日本一の生産量を誇るはだか麦やあたご柿、春の七草など、多種多様な農作物の一大産地であるとともに、飲料、電気機械などの工場が立地し、四国最大規模の工業地帯となっており、今治造船、ルネサスセミコンダクトマニュファクチャリング、アサヒビール、日新製鋼、クラレ、花王サニタリープロダクツ愛媛が立地するなど約 2,500 事業所が立地しています。

別紙 西条市の防災対策。防災関係の具体的な取り組み状況。河川監視アプリの運用について。「西条市の安全・安心情報お届けメール」にて質問事項の回答といたします。

考察 西条市では 2 級河川以下の小河川でもハザードマップを作成しています。地域防災地図を作成し、自主防災組織を育成、コミュニティネットワークの構築を図っています。

防災士を養成し、毎年 80 人を養成、市内に 1081 人の防災士がいます。12 歳教育に防災教育プログラムを取り入れ体験を通してより確かな社会性を身に付けさせ、将来の市を担う若者を育成するとともに、子どもを通して、家庭の防災意識の向上を図っています。

平成 16 年台風災害や平成 28 年 8 月豪雨での土砂災害等を踏まえ、市民の生命、身体を保護するため、土砂災害ハザードマップ、浸水想定調査を活用した洪水ハザードマップが作成され、コミュニティネットワークを構築し、防災士を養成し、防災に強いまちづくりに官民一体となって取り組んでいます。市主導でハード面を整備し、ソフト面を町会や民間に協力願う組織作りは大変参考になりました。本市でも早急に取り組むべきと考えます。

2月6日(木)徳島県三好市役所

三好市議会事務局次長谷賢二様、企画財政部地方創生推進課主幹豊永詩保子様
概要 平成18年3月1日三野町、池田町、山城町、井川町、東租谷村、西租谷村が合併し「三好市」が誕生。大きさは四国最大で琵琶湖より大きい。

市内の高低差は1950mもあり、三好の市街地を「マチ」山間部を「ソラ」と呼ぶ。それぞれ独自の文化や生活を醸成してきたマチとソラが一つとなった今、人々は互いに交流を重ね、それぞれの魅力を認め、共にはぐくんでいる。

市内には趣のある古い民家が数多く残り、それが三好の景観の魅力の一つになっている。一方、問題になっている人口減少による空き家の増加。そこで空き家を貴重な地域資源として活用する様々な取組が進められている。その一つが都会の会社に空き家や旧廃校を活用してもらうサテライトオフィスの誘致活動。現在、企業数社がサテライトオフィスを開設し、地元の雇用創出に貢献。使われなくなった校舎を有効利用する事業者を全国から公募し、採択した事業から地域おこしの新しいムーブメントが生まれている。

旧出合小学校：ハレとケデザイン舎 ハレとケ(非日常と日常)をテーマとしたデザイン会社で、「日常の中の非日常」と言う場を創り学びや発見、「おいしい」を含む心豊かな時間を提供する暮らしのデザイン会社です。デザインの仕事は、場所を選ばずインターネットを利用して地域で雇用したスタッフとともに行われている。地元の方と協力し、イベントを開催。多くの方の集いの場となっている。カフェやバー、宿泊施設も併設し、地域の人や観光客にくつろぎの場を提供している。

旧河内小学校：株式会社やまびこ 農産物加工所として校舎を活用し、豆菓子の製造や市内で収穫された柚子を専用の機械を使って果汁や加工品の生産に取り組み、校舎に明かりをともしている。

旧太刀野山小・旧西宇小・旧西山小は福祉関係施設が入居。デイサービス事業、コミュニティカフェ、食堂、介護予防事業(健康教室、各講座開催)、買い物代行サービスを行う。

旧佐野小学校：物流配送事業。カスタマーサポートセンター、商品保管(倉庫)スポーツ用品等インターネット販売

旧野呂内小学校：野菜乾燥施設として地元野菜(かぼちゃ、さつまいも等)を乾燥加工し、商品として販売

旧有瀬小学校：農産物加工・民宿。こんにゃく、豆腐作り・加工、地域おこし協力隊とイベントを実施。

旧下野呂内小学校：カフェ、保育施設等 平成29年10月普通財産の有償貸付、建物1,388㎡、運動場703㎡。5年契約で土地評価額を参考に貸し付け。平成30年5月開業

考察 6 町村の合併で生まれた三好市は膨大な面積を有し 7 割が中山間地で集落に学校が点在していたため、現在 27 校の旧廃校を抱え財政を圧迫する大きな要因の一つとなっています。

現状を受けて休廃校等の活用方針が策定され、活用に対する基準が策定されました。地域資源である旧廃校等が有する有形無形の価値を活用する創造的なアイデアの提案及び活用主体について広く全国に公募しています。

平成 24 年 8 月より、市ホームページ、文科省「開校プロジェクト」へ掲載、アイデアを募集し現在 59 件の応募がありました。25 年 3 月第 1 次募集を始め 30 年 7 月まで 13 次に渡り実施、応募総数 18 件、選定事業 13 件の採用がなされ、雇用者約 29 名、移住者 10 名が成果です。

大変厳しい環境の中で地域の良さを未来に繋げる工夫を市が中心となり市全体で取り組む姿勢は素晴らしいものがあります。利活用できるものは何でも利用する。我々も見習いたいと思います。